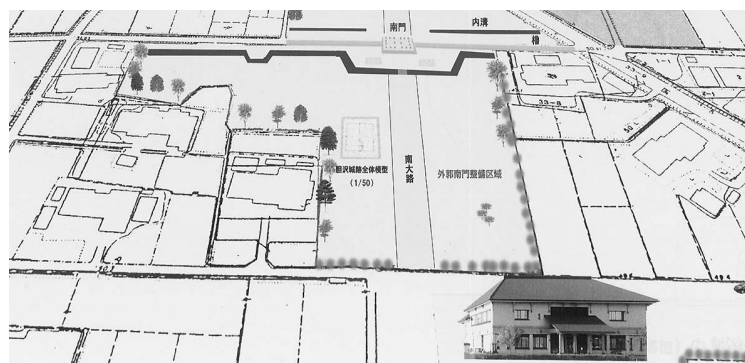


ここが聞きたい 一般質問

教育委員長 文化庁職員による現地調査・指導を受ける中で、当面外郭南門地区の整備を行いたい。新年度に胆沢城跡整備活用指導委員会を立ち上げ、地元からも参加をいただき具体的な整備計画を作成したい。諸般の条件が整えば平成23年度から整備事業を着手した

質問 国の史跡指定第1号である「胆沢城跡」を市のブランドとして位置づけ、それにふさわしい歴史公園として整備すべきと考えます。保存・整備の計画について伺います。



胆沢城外郭南門地区整備構想図(写真は奥州市埋蔵文化財調査センター)

その他国・県・市道の路線維持補助金として約6千万円もの補助金を出しているが1台当たりの乗車人数は4・2人から0・2人となっています。各区毎に実施されてきたバス路線の確保対策や運行体系が異なっており、区を越えての路線の連絡や施設間のアクセス手段

質問 水沢のZバス利用者は年間約3万人、料金は200円から300円、1台当たり乗車人数は4・5人。江刺市営バスは年間12万5千人、料金は100円から900円、1台当たり乗車人数は3・8人。前沢はデマンドバスで年間3万人、料金は100円から200円となっています。

質問 水沢のZバス利用者は年間約3万人、料金は200円から300円、1台当たり乗車人数は4・5人。江刺市営バスは年間12万5千人、料金は100円から900円、1台当たり乗車人数は3・8人。前沢はデマンドバスで年間3万人、料金は100円から200円となっています。

市のバス事業について



おのでら しげし
小野 寺 議員

と考えています。今後、整備後の公開に向けて学習するなどソフトの面も推進したいと考えます。



戸口から目的地まで利用できるハートバス

市長 バス利用者の減少により経費が増大し厳しい市財政の負担が懸念されます。料金の統一、全市への運行等について多くの課題があります。今後更に過疎化、高齢化が進むなか通院、買物、通学など日常生活の足を守るため、地域間の不公平感の解消、利用者負担の公平性、サービスの限度、採算性、利用増進策など総合的に検討してまいります。

質問 今回の合併効果は一つは国から10年間に渡り財務の手当がな

市長 とても大切な観点と考えます。現在各区毎に合併前の体制となっており、これを併せ介護保険料の見直し等も出て参ります。その際充分協議させて頂きます。

市長 高齢者のみの2人暮らしは3,247世帯あります。現在日常生活自力支援制度や在宅サービス等により居宅支援専門員や民生委員の皆様により見守り等含めて対応しております。

質問 核家族化が確実に進行しています。65歳以上のみの世帯が約7,000世帯あります。介護を必要とする高齢者や認知症の高齢者はこれからますます増加すると思われる。市の対策はどうなっているかお伺い致します。



せき しょう 子
関 笙 議員

○老々介護・認知介護の実態と対策について
○平成21年度奥州市の予算編成について